








支出命令書 (一般)

市長 **	副市長 **	教育長 **	部長 **	次長 **	課長 	課長補佐	係長 	担当者 
会計管理者 	会計課長 	課長補佐 **	係長 	担当者 **	入力 	財政課合議 **	検取者	


起 票 日	令和 8 年 4 月 16 日	所 属	080100 市議会事務局
年度	令和 8 年度	会 計	01 一般会計
科	款	01 議会費	
	項	01 議会費	
	目	01 議会費	
	事 業	040000 議会調査研究事業	
	節	18 負担金、補助及び交付金	
	細 節	90 その他	
	細々節	06 政務活動費	
年度	令和 8 年度	会 計	01 一般会計
予算区分	0 現年度		

金 額	2,920 円	所 得 税	0 円	タイムカード(出勤簿)確認
支 払 回 数	1 回	雇 用 保 険 料	0 円	源泉徴収確認
負 担 行 為 額	600,000 円	そ の 他	0 円	被服貸与台帳記載確認
支出命令済額	2,920 円	控 除 額 合 計	0 円	通勤経路及び金額確認
負 担 行 為 残 額	597,080 円	請 求 書 番 号		
源泉支払内容	*****			

件 名	旅費 4/20~21, 令和8年度市町村長等・議会議員特別センター参加旅費
-----	---------------------------------------

摘 要	
-----	--

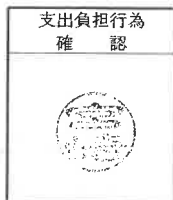
債 権 者 等	支 払 方 法	21 現金払	支 払 希 望 日	令和8年 4月30日
	住 所			
	名 称	市民未来の会代表者 野田 悦子		
	役職等/ 氏名			
	銀行 / 口座			
	口座名義人			債 権 者 番 号

領 収 氏 名	住所	市民未来の会代表者 野田悦子	領 収 印	
---------	----	----------------	-------	---

上記の金額を領収しました。令和8年 4月30日

支 払 済

令和 年 月 日
泉大津市 会計管理者 あて










伝票番号
08-000506
整理番号
08-000004-01

負担行為番号
08-000393
呼出番号



00751201

08 01 01-01-01 04-00-00 18-90-06


供	議長	副議長	局長	次長	議事調査係長	庶務係長	総括主査	係員
覧			橋本					

別記様式第5号（第4条関係）

政務活動費交付請求書

令和8年4月14日

泉大津市長
南出賢一様
(泉大津市議会議長経由)

会派名 市民未来の会
代表者名 野田悦子 

政務活動費交付請求書

泉大津市議会政務活動費の交付に関する規則第4条の規定により、下記のとおり政務活動費を請求します。

記

交付請求額	2,920円		
内 訳	令和8年4月20日(月)～21日(火) 令和8年度市町村長等・議会議員特別セミナー 参加旅費		
支払先	井上 信久		
予算科目	旅費	交付残額	597,080円
使用者名	井上 信久		

令和8年度

出張申請書

(出張)


会派名	市民未来の会	氏名	井上 信久					
出発・帰庁年月日	出発 令和8年4月20日		帰庁 令和8年4月21日					
出張先(順路)	全国市町村国際文化研修所(滋賀県大津市唐崎二丁目13番1号)							
目的及び用件	令和8年度第1回市町村長等・議会議員特別セミナー							
区間	距離	運賃	料金	車賃	宿泊料	日当	食卓料	計
和泉府中(自宅最寄駅) (JR阪和線・関西空港線)	km	円	円	円	円	円	円	円
大阪	31.6							
" (JR京都線)								
京都	42.8							
" (JR東海道本線・湖西線)					宿泊料: 別途、負担金として納入 日 当: 滋賀県のため支給なし			
唐崎	14.0	88.4	1,460					1,460
" (線)								
復路	88.4	1,460						1,460
(線)							計	2,920
(線)								
(線)								
(線)								
(線)								
(線)								
(線)								
(線)								

主管課用

令和8年度

領収書兼旅費明細書

(出張)

会派名	市民未来の会		氏名	井上 信久				
出発・帰庁年月日	出発 令和8年4月20日		帰庁 令和8年4月21日					
出張先(順路)	全国市町村国際文化研修所(滋賀県大津市唐崎二丁目13番1号)							
目的及び用件	令和8年度第1回市町村長等・議会議員特別セミナー							
区間	距離	運賃	料金	車賃	宿泊料	日当	食卓料	計
和泉府中(自宅最寄駅) (JR阪和線・大阪環状線)	km	円	円	円	円	円	円	円
大阪	31.6							
" (JR京都線)								
京都	42.8							
" (JR東海道本線・湖西線)					宿泊料:別途、負担金として納入 日 当:滋賀県のため支給なし			
唐崎	14.0	88.4	1,460					1,460
" (線)								
復路	88.4	1,460						1,460
(線)							計	2,920
(線)								
(線)								
(線)								
(線)								
(線)								
(線)								
(線)								
右の金額領収いたしました。				金額			¥	2,920
令和 年 月 日								
泉大津市会計管理者 殿				職名	市民未来の会			
				氏名	井上 信久			
								

受講証明書

団体名 : 大阪府 泉大津市

所属・氏名 : 泉大津市議会 議員 井上 信久

研修名 : 令和8年度第1回市町村長等・議会議員特別セミナー

期間 : 令和8年4月20日(月) ~ 4月21日(火)









上記の研修を受講したことを証明します。

令和8年4月21日

全国市町村国際文化研修所
学長 小池 信之



□決 裁 ■供 覧

受発記号・番号				收受年月日	令和8年5月13日								
差出 名		市民未来の会 井上 信久											
あて 名		泉大津市議会議長			提出期限								
收受文書の記号				收受文書の日付	令和8年5月8日								
件 名		報告書											
議長		副議長		事務局長		次長		合					
													
主 管	議事調査係長		庶務係長		総括主査		係員		議				
													

処 理 上 の 意 見 及 び 注 意 事 項

日 時：令和8年4月20日（月）～4月21日（火）

出張先：全国市町村国際文化研修所

研修名：令和8年度第1回市町村長等・議会議員特別セミナー

会派代表



報告書

令和8年5月8日（金）

泉大津市議会議長 様

会派名 市民未来の会

出張者氏名 井上 信久



下記により出張しましたので、その概要について報告いたします。

記

- 1 日 時 令和8年4月20日（月）～4月21日（火）
- 2 出張先 全国市町村国際文化研修所
- 3 内 容 第1回市町村長等・議会議員特別セミナー
- 4 所 見 次頁参照

4 所 見

「講義」

対話と挑戦で切り開く自治体経営

～人口5万以下都市の未来戦略～

鹿児島県日置市 市長 永山 由高 氏

永山市長は42歳という若さで市政を担い、人口減少や年齢構成の変化という大きな課題に対し、自治体がどのように向き合うべきかについて、具体的な実践を交えながら講義された。特に印象的であったのは、危機感を感覚論で語るのではなく、人口動態や財政状況などのデータを整理し、関係者間で共有することの重要性である。課題を「見える化」することで、市役所内部だけでなく、議会、市民、民間事業者とも共通認識を持ち、次の行動につなげていく姿勢は大変参考になった。

また、厳しい財政状況の中で、行政だけで地域課題を解決しようとするのではなく、いかに民間の力を借りるかという視点も重要であると感じた。日置市では、民間事業者のリスクテイクに対し、行政が与信とスピードで応えることを重視している。これは、単に補助金を出すという発想ではなく、行政が信頼を示し、迅速に動くことで、民間の挑戦を地域の力に変えていく取り組みである。

企業誘致についても、従来の「工場誘致」という考え方にとどまらず、日置市にゆかりのある経営者との関係性を大切にし、個人誘致から本社誘致へつなげる戦略が紹介された。さらに、立地企業に対しては、行政が「御用聞き」となり、企業の要望を丁寧に把握しながら、地元でメリットが生まれる形で対応している。駅から本社までの交通手段を確保するために、タクシー事業者とオリジナルプランを作成した事例は、企業支援と地域事業者の活用を両立させる好例である。

地域を巻き込む取り組みとして、企業と自治会が連携した防災訓練や、バレーボールチーム「フラワーラッド鹿児島」のホームタウン移転なども紹介された。行政、企業、地域団体、スポーツチームがそれぞれの強みを持ち寄ることで、地域の活力を生み出している点に大きな可能性を感じた。

子育て支援については、「できること、全部やる」という強い姿勢が示された。人口減少時代において、子育て世代に選ばれるまちづくりは極めて重要であり、施策を一つひとつ積み上げるだけでなく、自治体としての本気度を発信することが必要であると感じた。

さらに、市役所の働き方改革についても、若者や女性の気持ちに火をつける職場づくりが語られた。職員が前向きに挑戦できる組織でなければ、地域の未来を切り開く政策は生まれにくい。若者の結婚支援やマッチングの取り組みも含め、人口減少対策を行政内部の改革、地域経済、子育て支援と一体的に捉えている点が印象的であった。

今回の講義を通じて、人口5万人以下の自治体が生き残るためには、課題を正面から見つめ、データに基づき危機感を共有し、民間や地域と対話しながら、スピード感を持って挑戦することが不可欠であると学んだ。本市においても、行政だけで抱え込むのではなく、地域の人材、企業、団体の力を最大限に引き出し、未来に向けた自治体経営を進めていく必要がある。

「講義」

観光と地方創生

元観光庁長官

公益社団法人 大阪観光局

理事長 溝畑 宏 氏

講義の冒頭では、溝畑氏がミャクミャクのかぶりものを着用し、大阪・関西万博を力強くアピールされた。その姿から、観光を単なる行政施策としてではなく、人を巻き込み、地域を元気にするための重要な戦略として捉える熱意を感じた。

まず示されたのは、日本の世界における立ち位置の変化である。1人当たりのGDPは2000年の世界2位から2024年には38位へ、国際競争力は1992年の1位から2025年には35位へ、平均賃金も1997年の15位から2023年には25位へと低下している。また、出生率は1.15と世界でも極めて低い水準にあり、人口減少も大きな課題となっている。これ

らの数字から、日本はこれまでの成功体験に頼るのではなく、危機感を持って新たな成長戦略を描く必要があると感じた。

一方で、日本には世界に誇れる多くの魅力がある。四季の変化、美しい自然景観や街並み、安心・安全・清潔な環境、時間やルールを守る国民性、おもてなし文化などは、海外から見ても大きな価値である。さらに、伝統文化や歴史的建造物、豊かな食文化と旬の食材、伝統芸能・伝統工芸、マンガ・アニメなど、日本独自のコンテンツは数多く存在している。重要なのは、これらを当たり前なものとして見過ごすのではなく、地域資源として掘り起こし、磨き上げ、発信していくことである。

溝畑氏は、観光を「地域の総合的戦略産業」と位置づけておられた。観光は、名所を案内するだけのものではなく、地域独自の資源に付加価値を加え、世界に通用するものへと高める取り組みである。そして、地域外からヒト・モノ・カネを呼び込み、地域経済を活性化させ、持続可能な社会をつくるための重要な政策である。

大阪観光局がめざす都市像として、「体験・感動・伝統・伝承」「健康」「夢・挑戦」「多様性・共生・平等」「復活・対応力」「安全・安心・清潔・防災」「分散」「環境・みどり」という8つのキーワードが示された。これらは観光政策に限らず、まちづくり全体に通じる視点である。

特に、観光客を一部の場所に集中させるのではなく、地域全体へ分散させる考え方や、安全・安心・清潔・防災を観光の基盤に据える考え方は、自治体運営においても重要であると感じた。

また、大阪みどりの取り組み、日本みどりのプロジェクトについても紹介があり、都市の魅力を高めるうえで、環境やみどりの価値を再認識することの大切さを学んだ。観光は、派手なイベントや大型施設だけではなく、地域に暮らす人々が誇りを持てる環境づくりと一体で進めるべきものである。

今回の講義を通じて、日本は厳しい国際環境に置かれている一方で、世界に誇れる魅力を数多く持っていることを再確認した。泉大津市においても、歴史、文化、食、自然、港、だんじり、毛布産業、人のつながりなど、地域に根ざした資源がある。これらを改めて掘り起こし、付加価値を加え、市内外に発信していくことが必要である。観光をまちづく

りの重要な戦略として位置づけ、泉大津市でも新たな挑戦を進めていく必要があると感じた。

「講義」








現代の若者論

日本大学危機管理学部

教授 西田 亮介 氏

講義では、出生数と合計特殊出生率の推移から、少子化が進む日本社会において若者世代の声をどのように政治に反映していくかが重要な課題であると示された。欧米のZ世代ではグreta・トゥンベリ氏のように社会課題に強く関わる若者がいる一方、日本では若者やインフルエンサーを通じた発信が政治参加の入り口になり得るとの話が印象的であった。日本人の平均年齢が50歳となる中、若者の政治的有効性感覚を高める取り組みが求められる。また、ネット選挙の解禁により、SNSは単純接触や態度変容を生み、メディアの中心になりつつある。教育基本法に記されている「政治教育」として、現実政治を扱う主権者教育の必要性も学んだ。泉大津市でも、若者が政治を身近に感じ、関心を持てる取り組みを進める必要がある。

支出命令書 (一般)

市長 **	副市長 **	教育長 **	部長 **	次長 **	課長 	課長補佐 **	係長 	担当者 
会計管理者 	会計課長 	課長補佐 **	係長 	担当者 **	入力 	財政課合議 **	検取者	


起 票 日	令和 8 年 4 月 1 6 日	所 属	080100 市議会事務局
年 度	令和 8 年度	会 計	01 一般会計
科 目	款 01 議会費	項 01 議会費	目 01 議会費
事 業	040000 議会調査研究事業		
節	18 負担金、補助及び交付金		
細 節	90 その他		
細々節	06 政務活動費		
予 算 区 分	0 現年度		

金 額	7,520 円	所 得 税	0 円	タイムカード(出勤簿)確認
支 払 回 数	2 回	雇 用 保 険 料	0 円	源泉徴収確認
負 担 行 為 額	600,000 円	そ の 他	0 円	被服貸与台帳記載確認
支 出 命 令 済 額	10,440 円	控 除 額 合 計	0 円	通勤経路及び金額確認
負 担 行 為 残 額	589,560 円	請 求 書 番 号		
源 泉 支 払 内 容	*****			

件 名 研究研修費 4/20~21 令和8年度第1回市長村長等・議会議員特別セミナー参加経費および振込手数料

摘 要

支 払 方 法	21 現金払	支 払 希 望 日	令和8年 4月30日
住 所			
名 称	市民未来の会代表者 野田 悦子		
役職等/ 氏名			
銀 行 / 口 座			
口 座 名 義 人	債 権 者 番 号		

領 住 所 領 収 印 

收 氏 名 市民未来の会代表者 野田悦子

上記の金額を領収しました。令和8年 4月30日

支 払 済

泉大津市 会計管理者 あて

支出負担行為
確 認



1 

負担行為番号

08-000393

伝票番号

08-000512









整理番号

08-000004-02

呼出番号



00751218


供	議長	副議長	局長	次長	議事調査係長	庶務係長	総括主査	係員
覧								

別記様式第5号（第4条関係）

政務活動費交付請求書

令和8年4月14日

泉大津市長
南出賢一様
(泉大津市議会議長経由)

会派名 市民未来の会
代表者名 野田悦子 

政務活動費交付請求書

泉大津市議会政務活動費の交付に関する規則第4条の規定により、下記のとおり政務活動費を請求します。

記

交付請求額	7,520円		
内 訳	令和8年4月20日(月)～21日(火) 令和8年度第1回市町村長等・議会議員特別セミナー 参加経費および振込手数料		
支払先	(公財) 全国市町村研修財団 全国市町村国際文化研修所		
予算科目	研究研修費	交付残額	589,560円
使用者名	井上 信久		

ご利用明細票

お取扱日	店番	お取引内容
08-04-10	41364	通帳送金
記号	番号	
*****	*****	
取扱番号	お取引金額	
N021	*9,700	
	残高	
42P1	*56,186	
銀行 支店 [Redacted]		
送金料金 *220円		
振込予定日 08-04-10		
イスマイオオツシキカイ イノウエノブヒサ		

ご利用いただきましてありがとうございました。

ゆうちょ銀行

供 覧	議 長	副 議 長	局 長	次 長	次 長 補 佐	係 長	主 査	係 員
	大塚			谷	梅谷	川上	北野	石倉

3

全国研第63号
令和8年3月13日

大阪府 泉大津市議会議長様

公益財団法人全国市町村研修財団
全国市町村国際文化研修所
学長 小池 信之
滋賀県大津市唐崎二丁目13番1号
登録番号 T6040005002305

研修受講決定兼請求書





先にお申込みいただきました貴所属議員の研修受講について、次のとおり決定しましたので、お知らせいたします。
つきましては、以下の事項にご留意のうえ、所要の事務手続等についてよろしくお願
いします。

氏名	井上 信久
コース名	令和8年度第1回市町村長等・議会議員特別セミナー
研修期間	令和8年4月20日(月) ~ 4月21日(火)

1 研修受講に要する経費の納入について
下記金額を、指定期間内に指定口座に振り込んでください。

- (1) 納入金額：9,700円
 <内訳>

研修環境費(@2,500)(課税10%分)	5,000円	}	7,300円
食費(課税10%分)	2,400円		
研修生活動費(課税10%分)	2,300円		

 220円(振込手数料)
- (2) 税区分による内訳：(課税10%分) 9,700円(内税 881円) 合計 7,520円
- (3) 指定期間： 令和8年4月9日(木) ~ 4月15日(水)
- (4) 指定口座：  銀行 支店 No.  銀行 支店 No. 
 名義人： 

注1) 振込依頼書の「ご依頼人氏名欄」は、必ず団体名を記入してください。
 注2) 貴団体からの振込通知書の送付は不要です。
 注3) 振込手数料は、貴団体で負担願います。

発行責任者：教務部長 伊藤 哲也
 発行担当者：研修主幹 黒田 信子
 TEL：077-578-5932(教務部・調査研究部)



3/16

議室に添付

令和8年度

第1回

市町村長等・議会議員特別セミナー

日々めまぐるしく変わりゆく国内外の情勢の中で、様々な行政課題について学び、施策を提案・実施していくことが求められています。

今回のセミナーでは、各分野でご活躍の先生方からご講演をいただき、改めて現代社会を捉え直すとともに、今後のわがまちの未来や地方行政に求められる役割について多角的に考えていただきます。

多くの皆さまのご参加をお待ちしております。

共催：地方公共団体金融機構

開催要領

日 程

令和8年4月20日(月)～4月21日(火) (2日間)

場 所

全国市町村国際文化研修所 JR京都駅より湖西線約15分 唐崎駅下車徒歩約3分

対 象

市区町村長・副市区町村長及び部長級職員、市区町村議会議員

2日間全日程をご受講いただける方を対象とします。途中退所や一時帰庁はできませんのでご注意ください。

募集人数

来所による受講

170人

※途中退所や一時帰庁はできませんのでご注意ください。

オンラインによる受講

50人

※オンラインについては、ビデオ会議システムZoomを使用します。機材(1人1台)やインターネット接続のための環境が必要です。詳しくはZoom公式サイトをご参照ください。

「来所による受講」、「オンラインによる受講」ともに、募集人数を大幅に上回るお申込をいただいた場合は、先着順とさせていただきます。そのため、申込期限前に締め切らせていただく場合があります。その場合は、JIAMホームページのトップページ「受講者募集中の研修」でお知らせいたしますので、適宜ご確認ください。

宿 泊

研修所宿泊棟(宿泊型研修) ※外泊はできません。

経 費

来所受講:

9,700円

左記金額は、研修、宿泊、食事(朝食1回、昼食1回、夕食1回)、資料等にかかる費用です。なお、事前準備・事前学習及び最終日の昼食にかかる費用は含まれておりません。

オンライン受講:2,000円

申込期限

令和8年3月6日(金)まで

※先着順のため、申込期限前に締め切らせていただく場合があります。

申込方法

◎JIAMホームページ内「研修Web申込みフォーム」からお申込みください。

◎議員の方は、議会事務局を通じて、お申込みください。

◎来所による受講とオンラインによる受講を選択できますので、**どちらか一つのみ**お申込みください。

受講決定

受講の可否については、開講日の約1か月前を目途に通知をお送りします。経費納入方法等の手続きについては、受講決定通知書によりお知らせします。









問い合わせ先

公益財団法人 全国市町村研修財団 全国市町村国際文化研修所(JIAM) 教務部

〒520-0106 滋賀県大津市唐崎二丁目13番1号 TEL.077-578-5932

[e-mail] kenshu@jiam.jp [ホームページ] https://www.jiam.jp

支出命令書 (一般)

市長 **	副市長 **	教育長 **	部長 **	次長 **	課長 	課長補佐 **	係長 	担当者 
会計管理者 	会計課長 	課長補佐 **	係長 	担当者 	入力 	財政課合議 **	検収者	


起票日	令和 8 年 4 月 22 日	所属	080100 市議会事務局
年度	令和 8 年度	会計	01 一般会計
科目	款	01 議会費	
	項	01 議会費	
	目	01 議会費	
目	事業	040000 議会調査研究事業	
	節	18 負担金、補助及び交付金	
	細節	90 その他	
	細々節	06 政務活動費	
予算区分	0 現年度		

金額	13,620 円	所得税	0 円	タイムカード(出勤簿)確認
支払回数	3 回	雇用保険料	0 円	源泉徴収確認
負担行為額	600,000 円	その他	0 円	被服貸与台帳記載確認
支出命令済額	24,060 円	控除額合計	0 円	通勤経路及び金額確認
負担行為残額	575,940 円	請求書番号		
源泉支払内容	*****			

件名	資料費 公明新聞購読料 (2026年4月分~2026年9月分) 前払い		
----	-------------------------------------	--	--

摘要	
----	--

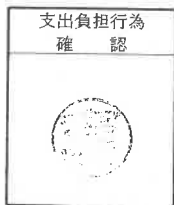
債権者等	支払方法	21 現金払	支払希望日	令和8年 5月11日
	住所			
	名称	市民未来の会代表者 野田 悦子		
	役職等/氏名			
	銀行/口座			
	口座名義人	債権者番号		

領収	住所			領収印	
	氏名	市民未来の会代表者 野田悦子			

上記の金額を領収しました。令和8年 5月11日

支払済









令和 年 月 日
泉大津市 会計管理者 あて



1'  負担行為番号
08-000393
伝票番号
08-000695
呼出番号
整理番号
08-000004-03
00752485



08 01 01-01-01 04-00-00 18-90-06


供	議長	副議長	局長	次長	議事調査係長	庶務係長	総括主査	係員
覧								

別記様式第5号（第4条関係）

政務活動費交付請求書

令和8年4月21日

泉大津市長
南出賢一様
(泉大津市議会議長経由)

会派名 市民未来の会
代表者名 野田悦子 

政務活動費交付請求書

泉大津市議会政務活動費の交付に関する規則第4条の規定により、下記のとおり政務活動費を請求します。

記

交付請求額	13,620円		
内 訳	公明新聞購読料（2026年4月分～2026年9月分）		
支払先	聖教新聞初田販売店		
予算科目	資料費	交付残額	575,940
使用者名	市民未来の会		

請求書

〒595-0026
泉大津市東雲町9-12
市役所5F

請求書番号： 27529-26626-260401
発行日： 2026年4月10日

市民未来の会（野田悦子）様

〒597-0073
大阪府貝塚市脇浜1-8-8-1

聖教新聞販売店 聖教新聞初田販売店
Tel:072-479-3833 Fax:072-479-3832
登録番号： T1810829512669

ご請求額（税込）¥13,620-

ご購入ありがとうございます。上記の通りご請求申し上げます。恐れ入りますが、**2026年4月30日迄**に下記の口座にお振込み下さいますよう、よろしくお願い申し上げます。

※振込手数料はお客様にてご負担ください。

ゆうちょ銀行（振替口座）	記号： [REDACTED]	番号： [REDACTED]
	口座名義： [REDACTED]	
（他行からのお振込みの場合）	金融機関コード： [REDACTED]	店番： [REDACTED] 店名： [REDACTED]
	預金種目： [REDACTED]	口座番号： [REDACTED]

税法改正等により購読料金が変わった場合、差額をご請求またはご返金させていただきます。

<ご請求明細>

購読期間	品目	部数	定価(税込)	金額(税込)
2026年4月1日～2026年4月30日	公明新聞※	1部	2,270	2,270
			小計	2,270
2026年5月1日～2026年5月31日	公明新聞※	1部	2,270	2,270
			小計	2,270
2026年6月1日～2026年6月30日	公明新聞※	1部	2,270	2,270
			小計	2,270
2026年7月1日～2026年7月31日	公明新聞※	1部	2,270	2,270
			小計	2,270
2026年8月1日～2026年8月31日	公明新聞※	1部	2,270	2,270
			小計	2,270
2026年9月1日～2026年9月30日	公明新聞※	1部	2,270	2,270
			小計	2,270
※は軽減税率対象品目です	合計金額(税込)			13,620
	(10%対象	0円	消費税	0円)
	(8%対象	13,620円	消費税	1,008円)

新聞購読料 領収証
市民未来の会（野田悦子）様

ご購入ありがとうございます。

下記金額を前受金として領収いたしました。

2026年4月分から6ヶ月分 領収日 月 日

領収金額 ¥13,620

品名	定価(税込)	部数	金額

その他購読料等 領収証

品名	定価(税込)	部数	金額
公明新聞※	(内訳参照)	(内訳参照)	13,620

(10%対象 0円 消費税 0円)
(8%対象 13,620円 消費税 1,008円)

※は軽減税率対象品目です。

販売店 初田 伸一
登録番号:T1810829512669
住所 貝塚市脇浜1-8-8-1
TEL 072-479-3833 FAX 072-479-3832

お申込No. 27529-26626(1704)-11

新聞購読料 領収証(内訳)
市民未来の会（野田悦子）様

品名	定価(税込)	部数	金額
2026年4月1日～2026年4月30日			
公明新聞※	2,270	1	2,270
※は軽減税率対象品目です。		小計	2,270
2026年5月1日～2026年5月31日			
公明新聞※	2,270	1	2,270
※は軽減税率対象品目です。		小計	2,270
2026年6月1日～2026年6月30日			
公明新聞※	2,270	1	2,270
※は軽減税率対象品目です。		小計	2,270
2026年7月1日～2026年7月31日			
公明新聞※	2,270	1	2,270
※は軽減税率対象品目です。		小計	2,270
2026年8月1日～2026年8月31日			
公明新聞※	2,270	1	2,270
※は軽減税率対象品目です。		小計	2,270
2026年9月1日～2026年9月30日			
公明新聞※	2,270	1	2,270
※は軽減税率対象品目です。		小計	2,270

販売店 初田 伸一
登録番号:T1810829512669
住所 貝塚市脇浜1-8-8-1
TEL 072-479-3833 FAX 072-479-3832

お申込No. 27529-26626(1704)-11